

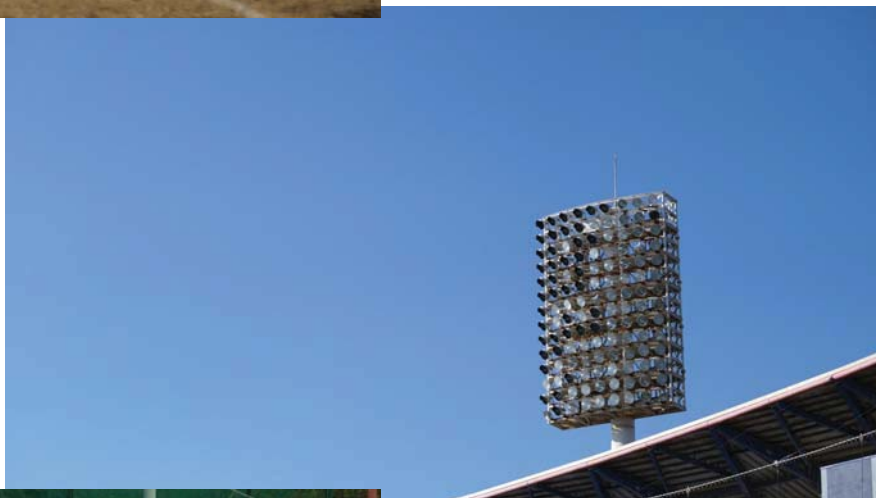
表彰式をただ撮影しても面白くないので、地面スレスレにカメラを置いて芝生を大きく入れ込んだ構図で撮ってみました。



一塁を駆け抜ける写真もあっても良いと思います。こちらの写真は、真冬の試合でしたが、寒風吹くなか日影でひたすらカメラを構え続けるという・・・まるで罰ゲームのようでしたが、いろいろな表情が撮れました。

透き通るような青空があれば右のような写真も撮ってみます。これもフレーミングを考えて照明を中心からずらした例です。

中学校野球の場合、サンマリノスタジアムで試合が出来るのは限られたチームですし、カメラマン席にも入れてもらいました。



横断幕、出場選手、控え選手の全てが入り、且つ試合に臨む感じを撮ったものです。動きの無い写真でも、撮り方によっては表情が浮かび上がってくるような気がします。



こちらでも被写体を中心からずらして撮ったものですが、表情を正確に捉えてなくても秀囲気を感じ取れる撮り方も出来ます。

これまで紹介した様々な写真を撮るには、常に集中を切らさないことが大事です。

似たような場面は訪れても、全く同じ場面は二度と訪れません。その瞬間、刹那を切り取るのが写真の面白さであり良さでもあると思います。日々、成長する選手の『絶妙なシャッターチャンス』を逃しませぬよう・・・



では、最後に集合写真ですが、盲点となったのが選手の姿勢でした。上は3列、下は2列で並んでますが大事なそこではなく、最前列選手の脚です。

野球の場合、よく目にするのは最前列の選手が捕手の構えのように、踵（かかと）を上げて座る姿勢ですが、それが出来ない選手が稀にいます。集合写真の場合、一人でも揃わなければ全体が崩れてしまい、もったいないですので、選手を入れ替えるか、下の写真のように片膝を立てるか、いずれかにしたほうが良いでしょう。

また、あとで加工出来るように、ある程度引いた状態で撮り、ズームし過ぎないように注意したほうが良いようです。

優勝の記念ならば笑顔も撮ると良いでしょうが、優勝してなければ笑顔を無理して撮る必要はないような気がします・・・記念撮影ですので、カメラマンの判断で。

また、記念撮影は可能ならば掲示板を背景にしつつ逆光を避けて撮影するのが良いかと思えます。掲示板がなければ逆光だけ注意しましょう。記念撮影時の逆光は、選手の顔が暗くなり、せっかくの写真が台無しになってしまいます。



野球撮影に特化したカメラ選び

■野球撮影に向いていると思われるカメラ比較一覧■

メーカー	CANON	ニコン	SONY	パナソニック	オリンパス
製品名 ※1	EOS 7D EF-S18-200 IS レンズキット	D7100 18-300 VR スーパーズームキット	α 77 II ILCA-77M2Q ズームレンズキット	LUMIX DMC-GH4H 高倍率 ズームレンズキット	OLYMPUS OM-D E-M10 EZ ダブルズームキット
製品画像	 ※2				
参考価格	¥130,000前後	¥160,000前後	¥170,000前後	¥200,000前後	¥90,000前後
発売日	2009/10/2	2014/4/24	2014/6/6	2014/4/24	2014/2/28
タイプ	一眼レフ	一眼レフ	一眼レフ	ミラーレス	ミラーレス
レンズマウント ※3	キヤノンEFマウント	ニコンFマウント	α Aマウント	マイクロフォーサーズマウント	マイクロフォーサーズマウント
有効画素数 ※4	1800万画素	2410万画素	2430万画素	1605万画素	1605万画素
撮像素子	APS-C 22.3mm×14.9mm CMOS	APS-C 23.5mm×15.6mm CMOS	APS-C 23.5mm×15.6mm CMOS	フォーサーズ 4/3型 LiveMOS	フォーサーズ 4/3型 LiveMOS
撮影感度 ※5	標準:ISO100~6400 拡張:ISO12800	標準:ISO100~6400 拡張:ISO8000相当、25600相当	標準:ISO100~25600 拡張:ISO50、64、80、51200	標準:ISO200~25600 拡張:ISO100	標準:ISO100~1600 拡張:ISO25600
連写撮影 ※6	8コマ/秒	7コマ/秒	12コマ/秒	40コマ/秒	8コマ/秒
シャッタースピード ※7	1/8000~30秒	1/8000~30秒	1/8000~30秒	1/8000~60秒	1/4000~60秒
電池タイプ	専用電池	専用電池	専用電池	専用電池	専用電池
記録メディア	コンパクトフラッシュ	SDHCカード SDカード SDXCカード	SDHCカード SDカード メモリースティックPRO Duo SDXCカード	SDHCカード SDカード SDXCカード	SDHCカード SDカード SDXCカード
手ブレ補正機構 ※8			○	○	○
幅×高さ×奥行き	148.2×110.7×73.5 mm	135.5×106.5×76 mm	142.6×104.2×80.9 mm	132.9×93.4×83.9 mm	119.1×82.3×45.9 mm
重量 ※9	820 g	675 g	647 g	480 g	350 g

- ※1・・・野球撮影に最低限必要な15~200mm程度の焦点距離のレンズがセットになっている機種がGOOD。贅沢を言うなら、~400mmの望遠ズームレンズは欲しいところ。
- ※2・・・2014年秋に『7D Mark II』が発売される予定との噂あり。(連写=10コマ/秒)
- ※3・・・マウントアダプタ装着により、異なるマウントレンズでも装着可能だが、α Aマウントはアダプタがないため、異なるマウントレンズは装着不可。
- ※4・・・画素数は単なるサイズであって、画質とはほぼ無関係。よって、ポスターなどの大判印刷しなければ、気にする必要はまったく無し。
- ※5・・・使用するISO感度は100~6400あれば十分。それ以上は、ノイズが出るために野球撮影では、3200以上は使いません。
- ※6・・・野球撮影ならば、最低でも7コマ/秒は必要で、多ければ多いほど○。しかし、コマ数が多いものは、シャッタースピードがAUTOになる可能性があるために、注意が必要。
- ※7・・・野球撮影は、最低でも1/3200秒以上のシャッタースピードは必要。分母の数が多いほど、速いスピードで撮れる。
- ※8・・・これは本体側の手ブレ補正機能を示しているが、レンズ側に手ブレ補正機能がついているので、気にする必要なし。
- ※9・・・軽すぎると、よくブレますが、重すぎると・・・ただ単に、疲れます。

上記機種以下の機種でも十分なスペックを持つものもありますが、これらは『後悔しない』機種の例をまとめたものです。

